

# 染色工

## 必要な資格

必要な資格はとくにありません。染色など加工の際には薬品を使うため、化学的な知識があれば有利です。思い通りのデザインにするのに、染色方法や染料の割合などを検討することもあるので、デザインやファッショングの知識があればなおいいでしょう。

## 収入

年収 320 万円

**程度。**大量生産・大量消費の傾向で染色の市場全体が下降気味になっている影響からか、一般的のサラリーマンより低い金額となっています。

## 生活

残業や休日出勤はほとんどありませんが、生産量が少ない時期は休暇が増えるようです。

## つらいこと

工場での作業になるため、基本的には一人で黙々と仕事をするようになります。コミュニケーションを取りたいという人にはつらいかもしれません。火を使うため、暑い環境のなか作業をしなくてはいけません。また、糸のみを染色する場合もあり、やりがいを感じられないという人もいます。

## 関連資格

- ・染色技能士
- ・危険物取扱者など

## やりがい

纖維や染料、温度などによって染まり方はそれぞれまったく違うものになるため、新しい組み合わせの場合は最善の染色方法を研究しなければなりません。いちばんいい染色方法を見つけることをやりがいとする人は多いでしょう。

## 仕事内容

染色工は染料や薬品を用いて染色整理加工を施すお仕事です。手作業で行う染め物ではなく工場で行う染色作業のことをいい、機械を使って糸や生地に着色をするほか、はっ水加工や防縮加工も行います。

## 関連職業

- ・染物職人
- ・紡績工など



## 【歴史】

13世紀頃には織物業とともに染色業が存在していたようです。当時から長い間、貴重な天然染料のみが利用され、技術も必要だったことから、染色のハードルは高いものでした。

ところが19世紀、イギリスのパーキンが合成染料を開発し、染料の人工生産を可能としたことで、それまで手工業を中心だった染色業は急成長を遂げます。

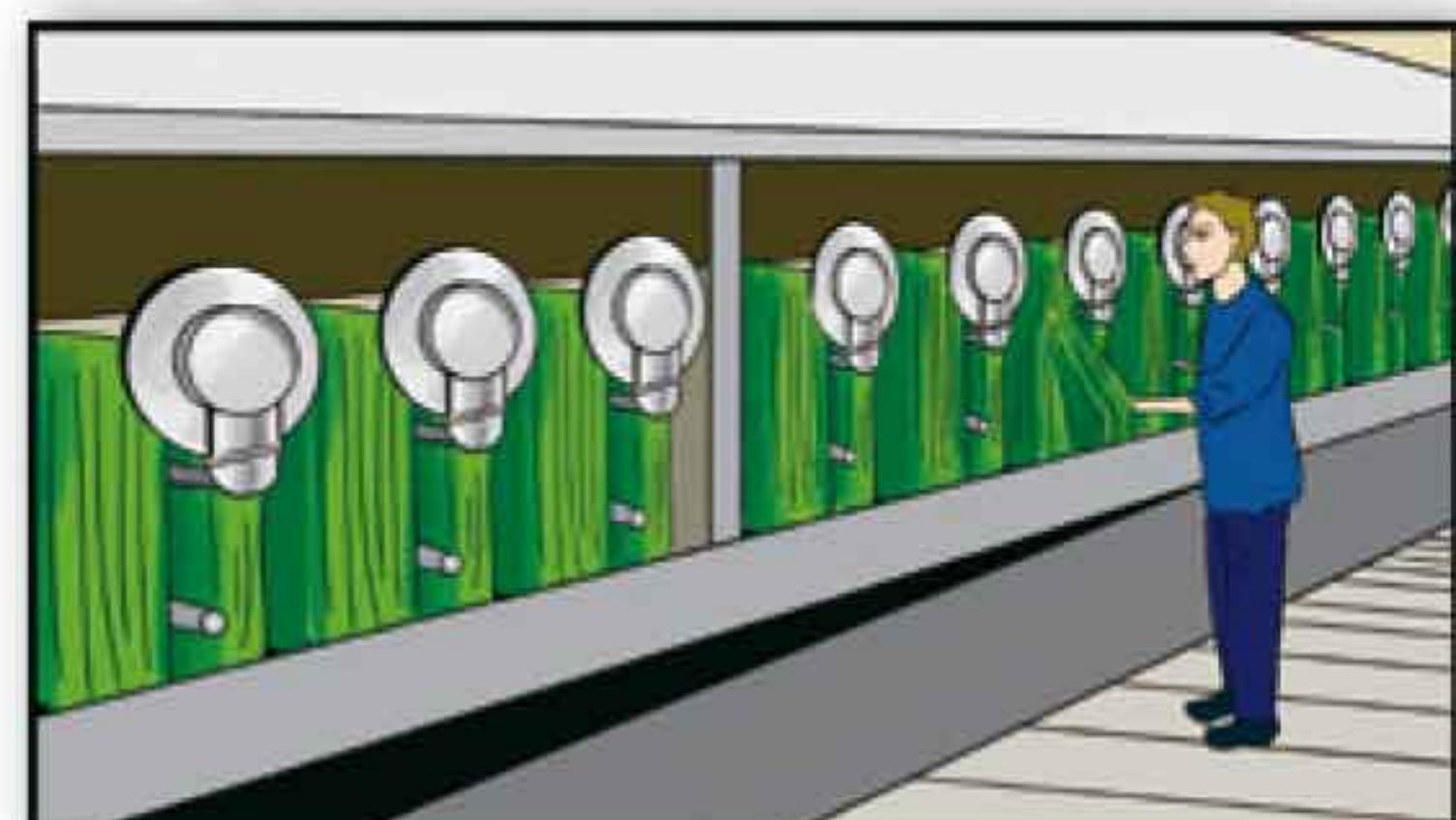
現在ではさらに機械化や技術革新が進み、新たな染料や生地が次々に誕生しています。

## むいている人

ファッションにおいて、個性を出す表現方法の一つである染色というのはたいへん重要となります。デザインやファッション業界に興味がある人にはむいているのではないか。技術の進歩によって染色の工程がオート化されてしまうか。前のようには仕事ができなくなっています。他の人が持っていない特殊な技術があると将来も役に立つでしょう。

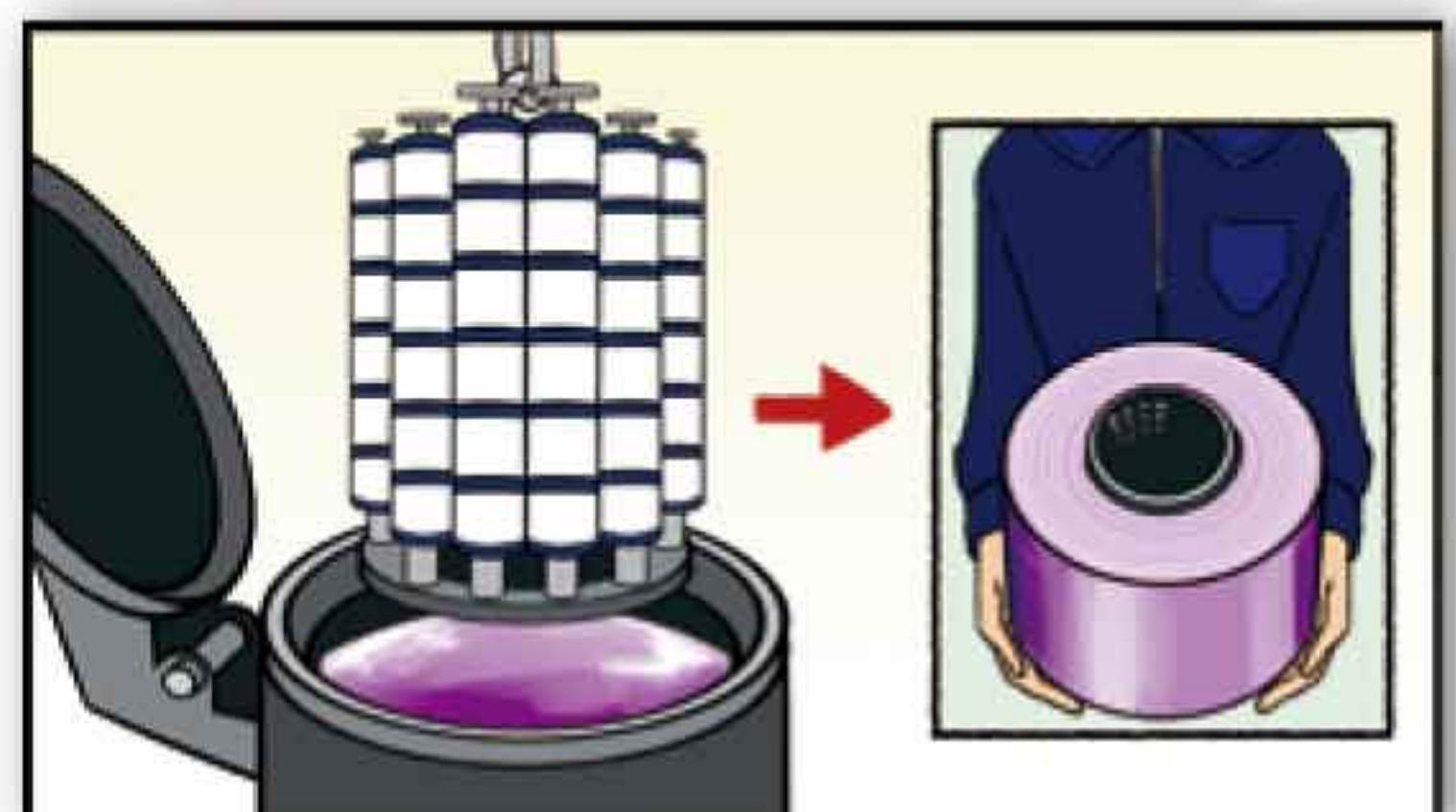
## 展望

## 総(かせ)染め



束状態の糸を染める先染めの方法です。糸の風合いを維持しつつムラなく染めることができますが手間がかかるため、大量生産には向きません。

## チーズ染め



糸を染色用のボビンに巻き直し、効率よく染める方法です。糸を巻き付けて固定するため、糸本来の風合いを失ってしまうことがあります。

## 反応染め



後染めのなかで一般的な方法となっています。生地成分のセルロースにアルカリ性の反応液を混ぜた染料を反応させて染めることができます。

## 硫化染め



硫黄や硫化ナトリウムなどで加熱してつくられる化学染料が使用されます。主に手ぬぐいや袢纏(はんてん)などに利用されています。